

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	18,175	△8.6	912	△20.8	1,130	0.3	640	△28.5
30年3月期第3四半期	19,889	10.1	1,151	247.8	1,127	124.8	895	121.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 625百万円(△51.2%) 30年3月期第3四半期 1,282百万円(194.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	89.17	—
30年3月期第3四半期	124.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	24,043	12,448	48.8
30年3月期	23,316	12,067	48.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 11,729百万円 30年3月期 11,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
31年3月期	—	8.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△3.2	900	△34.9	850	△24.8	600	△35.1	83.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	7,739,548株	30年3月期	7,739,548株
31年3月期3Q	552,784株	30年3月期	552,784株
31年3月期3Q	7,186,764株	30年3月期3Q	7,186,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善により、緩やかな回復が続いております。また、為替相場は期初から円安基調で推移してはりましたが、米国金融市場の不安定な動向に伴い、終盤にかけて円高傾向に転じました。

世界経済におきましては、米中を中心に回復基調が続いてはりましたが、米中貿易摩擦の激化や地政学的リスクなどを背景に、景気悪化の懸念が強まっており、中国経済では減速が見られました。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、軽自動車を除き、一般的に新車の販売動向は減少傾向にあります。家電分野では、東南アジア方面の需要は堅調に推移しましたが、国内販売は厳しい状況が続いております。医療機器関連では、高齢化社会や健康志向の増加に伴う医療ニーズを背景に、全世界的に市場は拡大しております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注と省力化に向けた生産体制の強化を図ってまいりましたが、取引先の受注減に伴い、主要なセグメントであるプラスチック成形事業で売上が減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は181億7千5百万円と前年同四半期と比べ17億1千3百万円(8.6%)の減収、営業利益は人件費をはじめとする固定費の高止まりにより9億1千2百万円と前年同四半期と比べ2億3千8百万円(20.8%)の減益、経常利益は為替差益の増加により11億3千万円と前年同四半期と比べ3百万円(0.3%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により6億4千万円と前年同四半期と比べ2億5千4百万円(28.5%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、新工場が稼働したムトーテクノロジーハノイCO., LTD. ではプリンター部品の売上が好調なほか、豊武光電(蘇州)有限公司やムトー(タイランド)CO., LTD. ではカメラ部品の売上が増加しました。一方、日本国内ではスマートフォン向けの電子ペンの売上が減少いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて165億3千9百万円と前年同四半期と比べ15億4千4百万円(8.5%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は8億8千4百万円と前年同四半期と比べ2億4千5百万円(21.7%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペンや医療機器の部品の売上は堅調に推移しておりますが、デジタルカメラ関連市場は縮小傾向にあり、売上の減少が続いております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて14億4千5百万円と前年同四半期と比べ2億1千8百万円(13.1%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は1千3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、複写機などの設計業務が減少しましたが、パソコン等のCPUに使用されるパッケージ基板の設計業務で売上が大きく増加しました。また、MID試作品の売上も好調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億5千1百万円と前年同四半期と比べ4千万円(19.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は4千1百万円と前年同四半期と比べ1千7百万円(72.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千3百万円増加し、157億7千1百万円となりました。現金及び預金が6億4百万円、仕掛品が2億8百万円それぞれ増加し、商品及び製品が2億1百万円、原材料及び貯蔵品が1億7千7百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億4千3百万円増加し、82億7千2百万円となりました。有形固定資産が4億2千6百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億2千7百万円増加し、240億4千3百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ5億9千1百万円増加し、79億9千3百万円となりました。短期借入金が5億6千5百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億4千4百万円減少し、36億1百万円となりました。長期借入金が3億6千2百万円減少し、繰延税金負債が9千9百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億4千6百万円増加し、115億9千4百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億8千万円増加し、124億4千8百万円となりました。利益剰余金が3億9千6百万円増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想及び配当予想(期末)につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,229,427	6,833,518
受取手形及び売掛金	4,430,420	4,388,210
電子記録債権	705,845	671,364
商品及び製品	1,023,736	822,163
仕掛品	685,250	894,229
原材料及び貯蔵品	1,583,245	1,406,049
未収入金	203,783	189,166
その他	527,460	568,084
貸倒引当金	△1,410	△1,430
流動資産合計	15,387,759	15,771,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,933,516	2,170,925
機械装置及び運搬具(純額)	3,066,975	2,963,725
土地	1,166,268	1,166,993
リース資産(純額)	14,361	19,487
建設仮勘定	249,679	509,612
その他(純額)	753,770	780,316
有形固定資産合計	7,184,572	7,611,061
無形固定資産	242,025	229,998
投資その他の資産		
投資有価証券	244,118	186,764
退職給付に係る資産	124,136	108,655
繰延税金資産	8,786	7,940
その他	127,836	130,725
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	501,992	431,201
固定資産合計	7,928,589	8,272,260
資産合計	23,316,349	24,043,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474,712	2,459,723
短期借入金	2,585,000	3,150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,253,262	1,210,768
未払法人税等	94,416	120,674
賞与引当金	208,681	131,264
その他	786,301	921,071
流動負債合計	7,402,373	7,993,502
固定負債		
長期借入金	3,278,148	2,916,111
繰延税金負債	195,925	295,321
役員退職慰労引当金	140,506	141,665
退職給付に係る負債	208,188	226,101
その他	23,315	22,147
固定負債合計	3,846,083	3,601,347
負債合計	11,248,456	11,594,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,168
利益剰余金	8,112,409	8,508,885
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	12,149,581	12,546,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,038	△17,986
為替換算調整勘定	△779,211	△798,922
その他の包括利益累計額合計	△759,173	△816,908
非支配株主持分	677,484	719,546
純資産合計	12,067,893	12,448,769
負債純資産合計	23,316,349	24,043,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	19,889,189	18,175,285
売上原価	16,532,563	15,049,294
売上総利益	3,356,625	3,125,991
販売費及び一般管理費	2,205,562	2,213,906
営業利益	1,151,062	912,084
営業外収益		
受取利息	43,375	57,060
受取配当金	5,361	5,285
為替差益	—	173,372
その他	19,489	9,470
営業外収益合計	68,226	245,188
営業外費用		
支払利息	53,594	26,002
為替差損	37,708	—
その他	170	364
営業外費用合計	91,473	26,367
経常利益	1,127,815	1,130,905
特別利益		
固定資産売却益	9,865	4,705
特別利益合計	9,865	4,705
特別損失		
固定資産売却損	35	—
固定資産除却損	4,693	23,713
特別損失合計	4,729	23,713
税金等調整前四半期純利益	1,132,951	1,111,897
法人税等	198,068	323,460
過年度法人税等	—	72,613
四半期純利益	934,882	715,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,188	74,997
親会社株主に帰属する四半期純利益	895,694	640,826

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	934,882	715,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,755	△38,024
為替換算調整勘定	363,168	△51,859
その他の包括利益合計	347,413	△89,884
四半期包括利益	1,282,296	625,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,200,318	583,091
非支配株主に係る四半期包括利益	81,977	42,848

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,072,869	1,611,599	204,719	19,889,189	—	19,889,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,332	52,448	6,280	70,061	△70,061	—
計	18,084,202	1,664,047	211,000	19,959,250	△70,061	19,889,189
セグメント利益又は損失(△)	1,129,481	△2,640	24,222	1,151,062	—	1,151,062

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,520,610	1,403,228	251,445	18,175,285	—	18,175,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,180	42,584	—	61,765	△61,765	—
計	16,539,791	1,445,813	251,445	18,237,051	△61,765	18,175,285
セグメント利益又は損失(△)	884,078	△13,827	41,834	912,084	—	912,084

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。